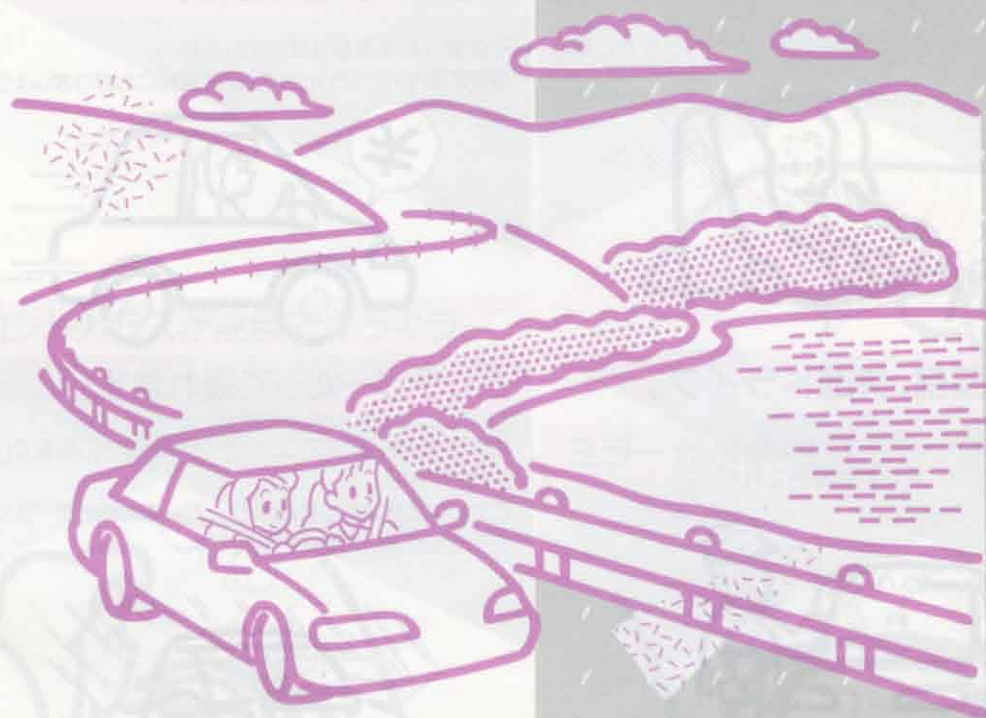


ベビーメテてトウ切る

雨の日もクリアな視界で、おトマの安全

最新機種、安全全



なるほど
インフォメーション…… 102

安全・安心マインド 102

高速道路の走り方 102

雨の日もクリアな視界で 103

夏の避暑対策…………… 104

冬のカーライフ…………… 105

シーズン前の冬じたく 105

お出かけまえに 106

雪道走行 107

冬の駐車ノウハウ 109

安全・安心マインド

チャイルドシート、ジュニアシートが安心です。

予測できない子供の動き。専用シートにすわらせると安心です。



安全運転、結局お得！

不必要な高速運転は燃料のムダ使い。車間距離をゆつたりとって、安全運転に心がけましょう。



きちんと整備、快適ドライブ。

手入れ次第で故障も未然に防げるもの。消耗品の補給・交換、定期点検をお忘れなく。



バッテリーだって疲れます。

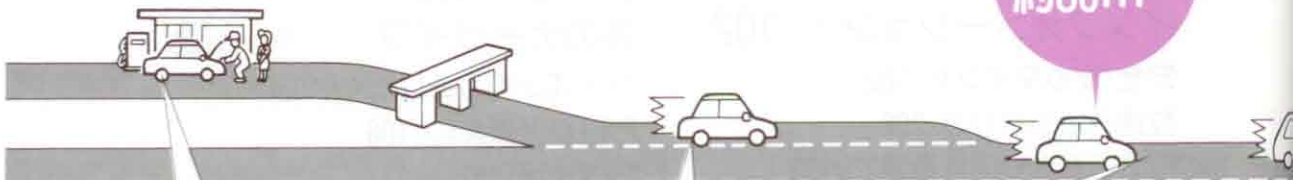
雨天の夜の渋滞。エアコン、オーディオのフル回転でバッテリーもバテぎみ。

こまめな節電はもちろんのこと、万一のためにブースターケーブルを車に積んでおくと便利です。



高速道路の走り方

80km/hで
約80m



ガソリンは満タンに。

高速道路にはいる前に、タイヤの空気圧、冷却水、オイルの量もチェックしましょう。

十分な加速で本線合流。



方向指示は早めに出して、十分加速し、安全確認後、タイミングを狙ってゆるやかに合流します。スピードに目が慣れるまで最大限の心くばりを。

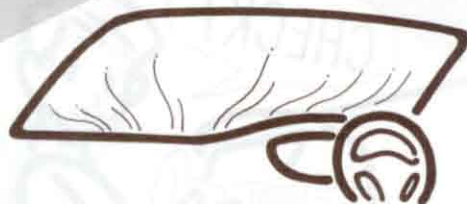
車間距離は十分に。

スピードと同じだけの距離(m)の車間距離が必要です。80km/hで約80m。20m間隔のレーンマークが4本、前車との間に見えるように。

雨の日もクリアな視界で

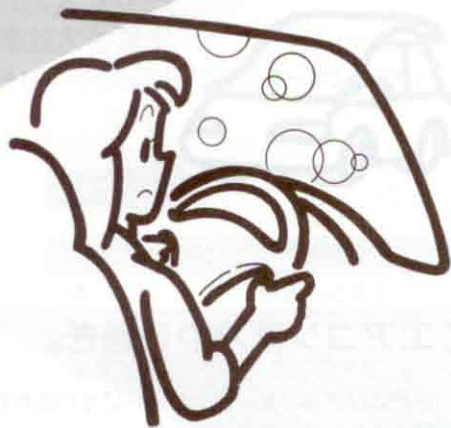
フロントガラスが曇る。

エアコンで除湿しましょう。吹き出し口を  カ  にし、内外気切り替えスイッチを外気導入にします。冬でも除湿としてエアコンを活用しましょう。



フロントガラスが油膜でギラギラ。

雨の夜は対向車のライトが乱反射。ガラスクリーナーを使ってガラスの表面だけでなくワイパーゴムもきれいにしましょう。



ミラーが水滴で見づらい。

ガラスコートをぬっておけば、雨水やはね水をはじきます。



追い越しが終われば 走行車線へ。

追い越し車線は追い越し専用です。追い越した車がインナーミラーに全部写ってからすみやかに走行車線へもどります。

無理せず休もう。

疲れたり眠くなったら、SA(サービスエリア)、PA(パーキングエリア)でひと休み。1時間走ったら10分ぐらい、3時間走ったら30~60分ぐらいを目安に。SAは50km、PAは15kmごとにあります。

夏

の避暑対策

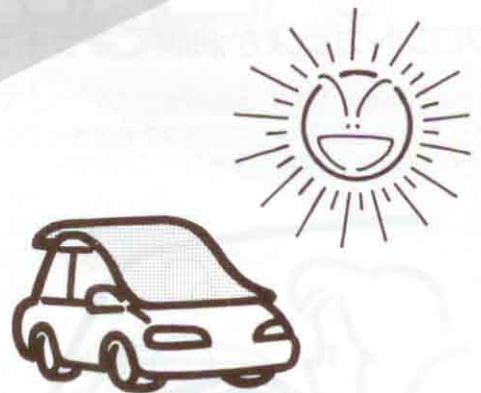
シーズン前にエアコンチェック。

エアコンのガスが少なくなると冷房効果が低下します。暑くなる前に点検・補充をしておきましょう。



ボディカバーでサンシャワーカット。

炎天下の駐車では室内温度は予想外。ボディに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルをかけて、室内温度の上昇をおさえましょう。



熱気を逃してエアコンスタート。

車にもどりにいきなりエアコンをかけるのは考えもの。まず窓を開けて熱気を逃してからエアコンを効かせるのが効果的です。



とにかくエアコンは冷やし過ぎ。

冷房に弱いかたはひざ掛けを、リヤシートにすわるかたには帽子を用意するのもひとつの方法です。エアコンの冷やし過ぎには気をつけましょう。



冬フのカーライフ

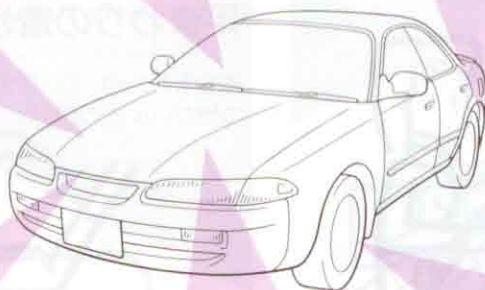
シーズン前の冬じたく

ウォッシャー液の
濃度50%以上

→データ1

凍結防止用ワイパー
の装着(降雪地のみ)

トヨタ純正ウォーターカットで
燃料タンクの水分排出



冷却水の濃度

→トヨタ純正ロングライフクーラント50%

外気温に応じた
エンジンオイル

→データ2

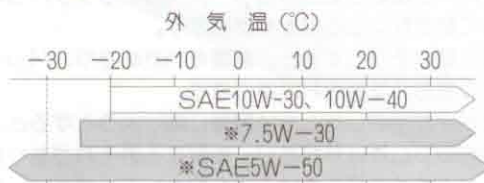
タイヤチェーンの準備
冬用タイヤの装着

4輪とも指定サイズの
同一銘柄のものに交換

データ 1

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10°C
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20°C
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50°C以下

データ 2



*極寒時には7.5W-30, 5W-50をおすすめします。

お出かけまえに

ガラスについての霜取り。

プラスチックの板を使うとガラスに傷をつけずに素早く落とすことができます。



足まわりの着氷。

車の下をのぞいて、足まわりに付着した氷塊を部品に傷をつけないように取り除いてください。



車が凍ったら。

ワイパー、電動リモコンミラー、パワーウィンドウなどが凍って動かなくなることもあります。無理に動かそうとすると、装置をいためたり、バッテリーあがりをおこすおそれがあります。またドアが凍結したときは無理に開けようとする、ドアまわりのゴムがはがれたり、き裂するおそれがあります。そんなときはお湯をかけて氷を溶かしてください。なお、すぐに水分を十分ふき取ってください。



ペダル操作時のすべり防止。

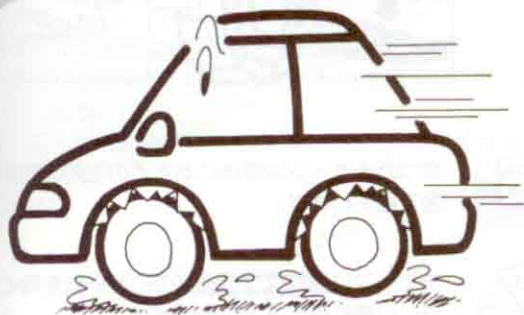
乗車時、靴についた雪をよく落としてください。



雪道走行

着氷のいたずら。

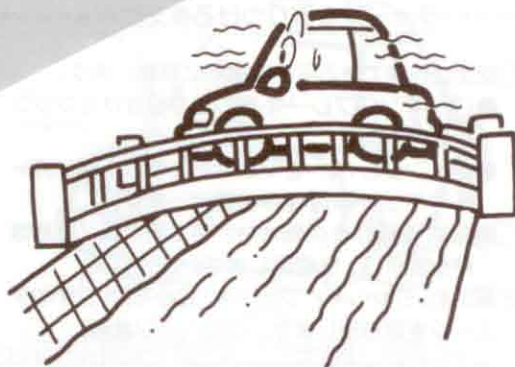
走行中にはね上げた水は、車に付着して氷になります。フェンダー裏側に付着するとハンドル操作に影響しますので、ときどき確認し、大きくなる前に取り除きましょう。ブレーキ装置に付着するとブレーキの効きが悪くなる場合がありますので、ときどき軽くブレーキペダルを踏んでブレーキの効き具合を確認しましょう。



スリップにご用心。

ゆっくりスタート、ひかえめな速度で走行中も“急”のつく動作は厳禁です。

橋の上や日陰など凍結しやすい場所では減速を心掛けましょう。



タイヤチェーン、冬用タイヤの装着

積雪路、凍結路では早めにタイヤチェーンまたは冬用タイヤを装着してください。



タイヤチェーンの取り付け方

- タイヤチェーンは前2輪に取り付けます。
- タイヤチェーンはタイヤサイズにあったものを使用してください。

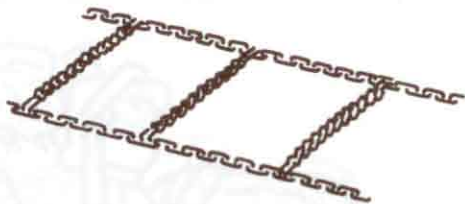
チェーンを取りつけるまえに

- ①安全に作業できる平らな場所に移動します。
 - パーキングブレーキをしっかりかけエンジンを止めます。
 - チェンジレバーをマニュアル車は1速、オートマチック車はPの位置にします。
 - 非常点滅灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を使用します。
- ②輪止め、ジャッキ、ジャッキハンドル、タイヤチェーンを取り出します。（116ページ参照）

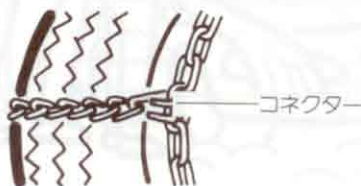
1 チェーンを取りつける前輪と対角の位置にある後輪のうしろ側に輪止めをします。

2 チェーンを取りつける前輪をジャッキアップします。
→114ページ参照

3 チェーンを路面にひろげて、ねじれがないことを確認します。

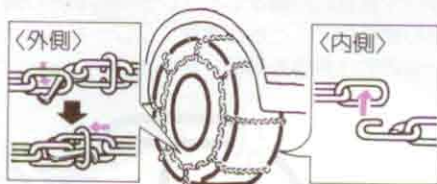


4 コネクターの折り曲げが外側を向くようにタイヤにかぶせます。



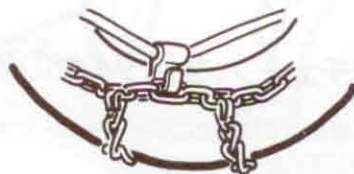
5 チェーンの両端をいっばいに引っ張り、内側から先に連結します。

- チェーンが内側、外側のどちらか一方に片寄っていないか確かめ、外側のチェーンもいっばいに引っ張り連結します。



6 余ったチェーンは車体にあたるのを防ぐため針金で固定します。

7 チェーンバンドはフリップの爪が外側を向くように均等にチェーンにかけます。



8 ジャッキをおろし、輪止めをはずします。

9 2～3分走行し、チェーンのゆるみ、はずれがないか確認します。

チェーンを取りはずすときは外側からはずしてください。



アドバイス

30km/h以下で走行してください。



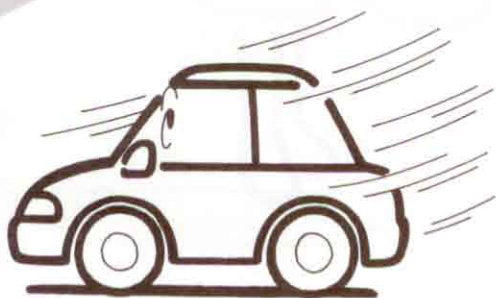
注意

冬の駐車ノウハウ

風下に向けて冷え込み対策。

風のあたる部分は、予想以上に低温となります。バッテリーあがりを防ぐためにもボンネット側を風下に向けて駐車しましょう。

ラジエーター前面にカバーをつけるとエンジンの冷えすぎを防げます。



パーキングブレーキはかけちゃダメ!

寒冷時はパーキングブレーキをかけるとブレーキ装置が凍結するおそれがあります。

チェンジレバーをオートマチック車はP、マニュアル車は

①または②にいれておきましょう。



ワイパーアームは立てて安心。

降雪時は寒さでワイパーゴムがガラスに凍りついたりします。

ワイパーアームは立てて駐車しましょう。



ウィンドウマスクは強い味方。

早朝のお出かけでも、フロントガラスの霜を取るわずらわしさがありません。



